

# 文化施設集約化に向けた方針案について

と き：令和5年10月24日（火）19：00～21：00  
ところ：コミュニティセンターなかさと 大ホール

# (1) 施設の概要

施設名	シライシアター野洲(野洲文化ホール)	文化小劇場	さざなみホール
外観			
築年数	40年	33年	31年
座席数	大ホール 1,003席 小ホール 100席	300席	495席 (会議室・研修室もあり)
年間収支※1	▲4,990万円	▲1,338万円	▲2,515万円
利用率※1	53%	61%	35%
R8年度までの修繕費用見込み	10億5,464万円	2億9,997万円	5億3,587万円
主な課題	バリアフリー未対応 舞台照明装置の更新が必要 舞台音響装置の更新が必要 客席吊天井は既存不適格 雨漏り多数あり 座席が狭小	バリアフリー未対応 舞台照明装置の更新が必要 客席吊天井は既存不適格 舞台機能が不十分	舞台照明装置の更新が必要 舞台音響装置の更新が必要 空調設備の更新が必要 雨漏り多数あり 地下からの浸水あり 客席吊天井は既存不適格 交通アクセスに難あり

## (2) これまでの検討経過

### <令和2年度まで>

3つの文化施設については、本市の公共施設の整備等に関する方針を定めるため平成31年3月に策定した「野洲市公共施設のあり方」において施設を集約する方向性を示し、検討を重ねてきた。

### <令和3年度～令和4年度>

令和3年末には、教育委員会において「野洲市文化ホール3施設の集約化検討書」として、さざなみホールに集約する案を示し、令和4年度には市民懇談会等を通じて市民へ説明してきた。

市での市民懇談会や各種団体への説明のほか、議会主催でも市民懇談会を開催され、多くの方から意見をお聞きする中で、駅前のホールを存続して欲しいとの声が圧倒的に多かったことから、この案で進めることは困難であると判断し、一旦白紙に戻して再度検討することとした。

### <令和5年度>

今年度からは政策調整部内に文化施設再編推進室を新たに設置し、改めてフラットな状態で市民の意見を伺うとともに、各施設の劣化度を調査し、建替え又は改修におけるコスト比較を行ってきた。

# (3) アンケート結果

6月には3会場で市民懇談会を開催したほか、やすまる広場や各種団体の会議等にも出向いて意見を伺った。また、より多くの方から幅広いご意見をいただくため、下記のとおりアンケートを実施した。

<調査方法> WEBアンケートによる回答のほか、紙による回答






<調査対象> 市民、文化施設の利用者等(市内、市外問わず)

<調査期間> 令和5年5月2日~7月31日








<調査項目> 文化施設の利用頻度、利用用途、優先要件、残すべき施設、跡地に欲しい機能、野洲市にあれば魅力が高まるもの

<回答数> 332件

現在3箇所ある文化施設を1つに集約するなら、どの施設を残すべきだと思うか。

	シライシアター野洲 (野洲文化ホール)	野洲文化小劇場	さざなみホール	市外でも良い	その他(自由記述)	その他の主な内容
計	230  (70%)	13  (4%)	44  (13%)	30  (9%)	13  (4%)	既存施設に拘らずに検討すべき 全て存続すべき

文化施設で優先すべき要件は何だと思うか。

	舞台・照明・音響	交通アクセス	様々な用途で活用できること	興行の誘致	日常から気軽に利用できること	ユニバーサルデザイン (バリアフリー)	その他(自由記述)	その他の主な内容
計	48  (11%)	153.5  (34%)	84.5  (19%)	69  (15%)	71  (16%)	22.5  (5%)	6  (1%)	施設は不要 他

## (4) 集約に向けた市内での考察

- 県内において催事の開催場所の決定要因は施設の規模もさることながら、駅前という立地条件で決定されている実態があることは留意すべきである。
- 駅前に立地している野洲文化ホール・野洲文化小劇場についてはさざなみホールと比べ公共交通機関の活用が見込め、またこのことは人の往来がし易く市民が文化に触れる機会が増えるということであり、実際、施設の利用者からもそのような声を数多くいただいている。
- 同時にそれは市外から来訪される方が増えることを通じて野洲の知名度アップが図れ、また、駅前に集客性の高い機能を備えることは、市の玄関口である駅前のにぎわい創出につながることから、まちづくりの観点からも駅前集約には優位性が見込める。
- 同じ駅前でも野洲小劇場だけでは多くの市民イベントが継続できなくなる恐れがある。
- 文化を花火に例えるのであれば、それは遠くから眺める「打ち上げ花火」ではなく、家族や友達と輪になって気軽に楽しめる「手持ちの花火」が野洲の文化にふさわしいのではないか。
- 手の届かない遠い存在ではなく、容易に機会が得られ日常に存在するものでなければならぬ。
- このように、文化と市民との距離感が重要であると考えており、アクセスに優れ、文化を日常化し、文化をはぐくみやすい駅前という環境を市民から奪ってはいけない。

## (5) 調査結果(建替え費用)

集約化の方針を分析・検討する根拠資料とするため、調査業務において建替え費用を算出するとともに、施設の劣化度を調査し、大規模改修費用についても算出した。

なお、建替えた場合の事業費については、考察の結果からシライシアター野洲(野洲文化ホール)に絞り、複数のパターンで新築建替えに要する費用を試算した。

### <シライシアター野洲建替え費用試算結果>

	A案	B案	C案
席数	固定700席	固定700席 +立ち見300	固定1,000席 +立ち見300
考え方	既存の敷地面積で収められる 席数として設定	既存の席数分の確保できる 収容人数として設定	近隣施設と同等以上の 収容人数として設定 敷地の拡幅が必要
解体費	1,382百万円	1,382百万円	1,382百万円
建築費	9,609百万円	10,163百万円	11,362百万円
総額	10,990百万円	11,545百万円	12,743百万円

## (5) 調査結果(劣化度調査と大規模改修費用)

また、各施設の劣化度についても調査し、大規模改修費用と40年間のライフサイクルコストについても算出した。

	シライシアター野洲(野洲文化ホール)	野洲文化小劇場	さざなみホール
躯体の劣化状況(目視)	クラックは見られるが、躯体の損傷は少ない。	躯体の損傷は少ない。	クラックから漏水が見られ、躯体の損傷が激しい。
内装材の劣化状況	床材は一部劣化しているものの大きな破損は見られないが、劣化が進んでいる為、改修が必要である。 壁材は、タイル貼、レンガ張に浮きが見られ、落下の危険がある。 天井材は、一部漏水跡が確認出来るが、状態としては大きな破損は見られないが、劣化が進んでいる為、改修が必要である。 バリアフリーの対応が出来ていない。	床材は一部劣化しているものの大きな破損は見られないが、劣化が進んでいる為、改修が必要である。 壁材は、タイル貼、レンガ張に浮きが見られ、落下の危険がある。 天井材は、一部漏水跡が確認出来るが、状態としては大きな破損は見られないが、劣化が進んでいる為、改修が必要である。 バリアフリーの対応が出来ていない。	床材は一部劣化しているものの、大きな破損は見られないが、劣化が進んでいる為、改修が必要である。 <b>壁材は、クラックから漏水し、劣化が見られる為、改修が必要である。</b> <b>天井材は、様々な箇所においてクラックから漏水し、劣化が激しく、改修が必要である。</b> バリアフリーの対応が出来ていない。
電気設備	LED化が出来ておらず、対応が必要。 自家発電設備が故障中。(改修予定)	LED化が出来ておらず、対応が必要。	LED化が出来ておらず、対応が必要。
給排水・衛生設備	給排水管が古く、鉄管が使用されている。 故障している便器がある。	給排水管が古く、鉄管が使用されている。 故障している便器がある。	給排水管が古く、鉄管が使用されている。 故障している便器がある。
空調・換気設備	給気設備の設置がない。(既存不適格) 空調室内外機共に交換時期にあり、全面的な改修が必要である。	給気設備の設置がない。(既存不適格) 空調室内外機共に交換時期にあり、全面的な改修が必要である。	給気設備の設置がない。(既存不適格) 空調室内外機共に交換時期にあり、全面的な改修が必要である。
総額	3,618百万円	810百万円	2,719百万円
考察	躯体の損傷、劣化は少ないが、今後40年使用すると、構造部の補修、補強を行う必要が、いずれかの段階において必要となる。	躯体の損傷、劣化は少ないが、今後40年使用すると、構造部の補修、補強を行う必要が、いずれかの段階において必要となる。	躯体の劣化が進んでおり、大規模改造を行う際に構造部の補修、補強が必要となる。 現在の竣工後約30年の劣化の進行から想定し、今後40年使用すると、再度構造部の補修補強が必要となる。

## (6) 結論(集約化方針案)

- アンケートを含む市民の意見、庁内での考察並びに調査の結果から、集約先はシライシアター野洲(野洲文化ホール)が適当であると結論付ける。
- ただし、現在のシライシアター野洲は老朽化が著しいため、大規模改修又は建替えの対応が必要となる。
- しかしながら、建替えはコストが高額過ぎるため、大規模改修若しくは小規模な改修のいずれかが現実的な選択肢となる。
- 具体的な改修内容等については、今後、基本計画等を策定する中で検討を進めていく。
- 集約される2施設については、早期に解体することとする。

### <今後のスケジュール(案)>

	R5	R6	R7	R8
シライシアター野洲	方針決定	基本計画	実施設計	改修工事
さざなみホール 文化小劇場	方針決定	貸館終了 解体設計	解体工事	



## (7) 備考

集約化に伴う大規模改修工事にあたっては、「公共施設等適正管理推進事業債」が充当できる。ただし、対象となるのは令和8年度までに執行した事業となっているため、迅速な事業執行が求められる。

事業名	シライシアター野洲大規模改修(R8工事)
工事費	2,253,442千円
地方債	公共施設等適正管理推進事業債 (90%充当、50%地方交付税措置)
借入額	2,028,000千円
償還期間	30年
据え置き期間	なし
利率	2%

	償還額等	実質市負担額
初年度負担	315,569千円	270,457千円
2年目以降	90,224千円	45,112千円
合計	2,932,050千円	1,578,698千円

※元利金等。初年度のみ起債充当残含む。

## (8) さざなみホール跡地利用の提案①

- 文化施設集約化により**廃止・解体**
- 跡地活用方策の検討(考察)
  - 少子化、人口減少社会の到来といった本市を取り巻く社会情勢を踏まえ、たまちの魅力を高める機能が求められている。
  - 今回のアンケート等に限らず、これまでの行政運営の中で市民ニーズが高いと考える機能を新たに備えることで、市民の文化施設集約化に対する理解を深めることを目指すとともに、これに併せて**市の重点施策の推進を図る**ことが有効である。
  - 公共施設等総合管理計画において公共施設の床面積の削減が求められていることを踏まえ、**維持管理経費が嵩む公共施設(いわゆるハコモノ)**は避けるべきである。

# (8) さざなみホール跡地利用の提案②

## ➤ アンケート結果（令和5年度5月2日～7月31日）

仮にさざなみホールを廃止することになった場合、跡地に欲しい機能は何か。

		1位	2位	やすまる	計		
環境・文化	気軽に触れられる自然環境の確保	31	17	4	40.8		(10%)
	地域の歴史・文化活動の支援	21	14		29.3		(7%)
	生涯学習支援	12	20		23.3		(6%)
生活・安全	日用品購入の利便性向上	20	9	0	24.5		(6%)
	住環境の整備	13	6		16.0		(4%)
	防災・防犯の強化	11	4		13.0		(3%)
子育て・教育	子育て・教育支援	27	30	4	44.0		(11%)
	青少年スポーツの振興	29	28		45.0		(11%)
健康・福祉	高齢者の生きがい・健康づくり支援	17	10	6	25.0		(6%)
	高齢者・障がい者福祉の増進	10	16		21.0		(5%)
まちづくり	市民活動の支援	14	15	4	23.5		(6%)
	集会・イベント会場の確保	28	19		39.5		(10%)
産業・雇用	商工業の振興	10	10	2	15.7		(4%)
	農業の振興	7	9		12.2		(3%)
	就労の場の提供	12	5		15.2		(4%)
その他	その他	18	15	1	26.5		(6%)
その他の主な内容	何もいない、廃止に反対、住居、公園 他						

## ➤ 市民の声（『市長への手紙』）ほか

- 子どもがたくさん集まれる公園を設置してほしい。(R4.1:30代男性)
- 仕事が休みの土日も利用できる子どもの遊び場が欲しい。(R5.9:20代女性)ほか

## (8) さざなみホール跡地利用の提案③

### ➤ 提案

以上により、機能は子育て・教育分野が最も適当であると考える。

具体的には、市内に同様レベルの機能がない新たな子育て支援施設

子ども向け遊具広場(仮)「こどもランド」の設置を提案する。

(イメージ)



### ➤ スケジュール(案)

R5 方針決定

R6 解体設計

R7 解体工事

R8～ 建設・(仮称)こどもランド開園(※スケジュール要調整)